

# 自己評価公表シート

## 令和5年度 社会福祉法人徳風会 羽沢保育園

(実施期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日)

### 1、本園の保育目標

健康で安全な暮らしのできる子 自分のことは自分でできる子  
友達と仲良く遊べる子 自分から進んで取り組み工夫する子 心情豊かな子

### 2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

すべての課題の基となる人材の確保  
保育の質の確保のための人材の育成  
勤務環境改善に向けての業務の削減

### 3、評価項目と取り組みの状況

評価項目	取り組み状況
保育計画の計画・実施に関して、保育士間の共通理解を持つ	保育目標のもと、保育の計画に当たっている。 学年別会議等で共通理解を持つよう努めている
子どもの姿を的確につかみ、保育に活かす	子どもの生活の実態に合わせ保育を行っている。 療育センター等の助言を受けている。
教育の質の向上のために、様々な研修に参加する。また、園内研修を実施する	県・市が行う研修に可能な限り参加する。 各年齢別の会議、給食会議等を行なっている。
保護者の思いの把握に努め、適切に対応する。	保護者からの様々な意見を真摯に受け止め、改善すべきことについては対応をしている。保護者参加の行事等で、園の考えを伝えるよう努めている。

### 4、項目別の評価の集計

\* 評価を行い、上記のような結果が出た。具体的には、下記のような意見が出された。

項目	よく できている	まあまあ できている	あまり できていない	できていない
保育の計画性・共通理解	3/6	3/6		
計画に基づく保育の実施	3/6	5/6		
計画・実施の反省・評価	3/6	4/6		
子どもの姿の把握	3/6	3/6		
保護者とのかかわり	2/6	4/6		
関係機関とのかかわり	1/6	2/6	2/6	1/6
研修への参加・実施		3/6	3/6	

## 5、今後取り組むべき課題と、取り組みの成果

項 目	具体的な課題の内容
保育計画の計画・実施に関して、保育士間の共通理解を持つ	<p>こどもの姿や配慮の仕方については、日ごろから密に情報共有を行い、全体できちんと把握することが出来たと思う。</p> <p>しかし、日々の保育の振り返りは中々時間が取れず滞ってしまう事が多かった。</p> <p>子どもの興味に応じて様々な活動を計画し、日々の保育に取り入れることが出来た。また、職員同士で話し合ったり、子ども達の様子を伝え合ったりする事で、一人一人のこどもに対する共通の理解が持てるよう心掛けた。</p>
子どもの姿を的確につかみ、保育に活かす	<p>(0歳児)園の生活リズムに慣れるまでは、食事、睡眠、排泄の度に泣いてします子がほとんどで、その都度抱っこや言葉かけをし、安心感を持てるように配慮した。</p> <p>個別対応が必要な子が数名いて、気持ちの切り替えに時間がかかり、全体を見る職員が手薄になってしまわないよう、職員間の連携を心掛けた。</p>
教育の質の向上のために、様々な研修に参加する。また、園内研修を実施する	<p>療育センターでの研修に参加し、個々の子どもに合わせた対応を学ぶことが出来た。今後の保育に生かしていきたい。</p> <p>研修参加は出来ていたが、時期によっては時間に余裕がなくなってしまう事があった。</p>
その他	<p>保育の準備や書類作成のための時間の確保が難しかった。</p>

## 6、次年度に向けて

保育士は、継続的にこどもを中心とした保育を行っていると思う。限られた環境の中で、懸命に取り組んでいることが分かる。

不適切保育の問題等、ネガティブな事案が大きく取り上げられる中、社会が保育所を見る目は大変厳しくなっていると同時に、保育を取り巻く環境は厳しさを増しているように思える。また、保育に関わる書類作成等の事務量は年々増加傾向にある。余裕を持って保育に臨める環境整備が必要だと、改めて思う。

また、長い間の課題であるが、多くの職員が積極的に研修を受ける機会をもっと持てるよう、リモートでの研修を活用するなどしていきたい。

なお、出生数の減少によって就学前児童数は長く、大きく減ってきている。そのため、保育士養成校で学ぶ学生の減少も顕著である。最近では、養成校そのものの閉校も見られるようになってきた。そのため、職員の採用は年々厳しくなっている。長く働くことが出来る職場環境の整備が、絶対に必要なことであると改めて思う。継続的に取り組みたい。